

# 平成27年度水道事業決算の概要

地方公営企業である水道事業の経理は、水道水を供給するための経費と財源を表す「収益的収支」と、水道施設の建設・改良や企業債の元金返済に係る経費と財源を表す「資本的収支」の2つに区分し、複式簿記により行っています。

「収益的収支」では、前年度と比較して、収益が給水量の減少に伴う水道料金収入の減等により2,894万円減少しましたが、費用が湧水受水費の責任水量割合の引下げに伴う受水費の減等により9,863万円減少したことから、収益が費用を上回り、純利益が2,937万円となりました。

「資本的収支」では、建設改良費が、前年度比較で6,145万円増加し、支出全体では15億82万円となりました。

主要事業としては、九谷ダム湖から取り入れている水に、藻類が発生したことが原因で起こる水道水の異臭味への対策として、活性炭注入施設の整備に取りかかりました。

## 1. 収益的収支（税抜）

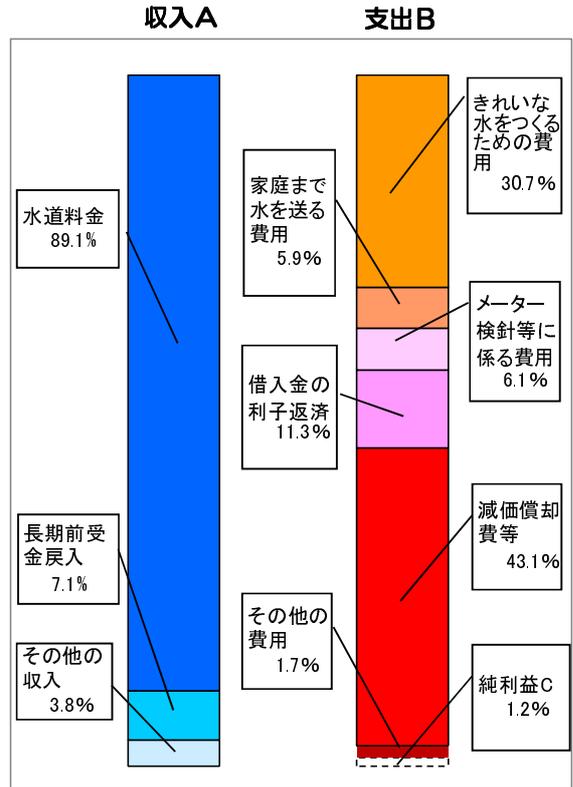
### (1) 収益的収入（税抜）

区分	決算額
水道料金【給水収益】	21億5,461万円
補助金等償却費相当額【長期前受金戻入】	1億7,216万円
その他の収入【給水加入金ほか】	9,161万円
<b>合計</b>	<b>24億1,838万円 A</b>

### (2) 収益的支出（税抜）

区分	決算額
きれいな水をつくるための費用【原水及び浄水費】	7億4,250万円
うち湧水受水費【受水費】	5億3,097万円
家庭まで水を送る費用【配水及び給水費】	1億4,329万円
メーター検針や料金収納等営業に係る費用【業務費、総係費】	1億4,665万円
借入金の利子返済【支払利息及び企業債取扱諸費】	2億7,252万円
減価償却費等【減価償却費、資産減耗費、繰延勘定償却】	10億4,233万円
その他の費用【受託給水工事費ほか】	4,172万円
<b>合計</b>	<b>23億8,901万円 B</b>

収益的収支差額（純利益）※ **2,937万円 C (A-B)**



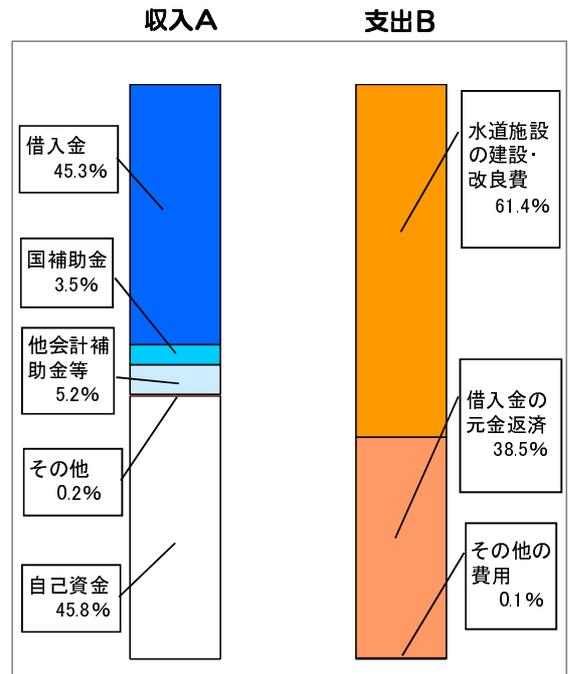
## 2. 資本的収支（税込）

### (1) 資本的収入（税込）

区分	決算額
借入金【企業債】	6億7,930万円
国補助金【国庫支出金】	5,327万円
他会計からの補助金等【他会計出資金、補助金、負担金】	7,755万円
その他の収入【工事負担金、固定資産売却収入】	374万円
自己資金（内部留保資金※）	6億8,696万円
<b>合計</b>	<b>15億82万円 A</b>

### (2) 資本的支出（税込）

区分	決算額
水道施設の建設・改良費【建設改良費、開発費】	9億2,157万円
借入金の元金返済【企業債償還金】	5億7,727万円
その他の費用【過年度補助金等返納金】	198万円
<b>合計</b>	<b>15億82万円 B</b>



※1 自己資金（内部留保資金）とは、現金を伴わない支出（減価償却費等）相当額や当年度以前の利益等です。

※2 収益的収入・支出、資本的収入・支出の区分欄の【】内は、決算書の科目名を表しています。